

Hello! FUJISEI

No. 198

平成24年中に亡くなった方は125.6万人でしたが、その死因の上位をみると、第1位が悪性新生物(がん) 36.1万人、第2位が心疾患19.9万人、第3位が肺炎12.4万人、第4位が脳血管疾患12.2万人となっています。これら悪性新生物、心疾患、脳血管疾患を合わせると、死因の5割を超えます。

悪性新生物、脳血管疾患、心疾患、糖尿病、高血圧性疾患という生活習慣病の総患者数は、平成23年の患者調査によると、悪性新生物152.6万人、糖尿病270万人、高血圧性疾患906.7万人、心疾患(高血圧性を除く)161.2万人、脳血管疾患123.5万人となっており、合計すると1614万人にもなります。

その医療費は、悪性新生物3兆1831億円、糖尿病1兆2152億円、高血圧性疾患1兆9082億円、心疾患(高血圧性を除く)1兆7020億円、脳血管疾患1兆7894億円で、合計では9兆7979億円にも上ります。この金額、医科診療医療費総額27兆8129億円の35.2%に当たります。

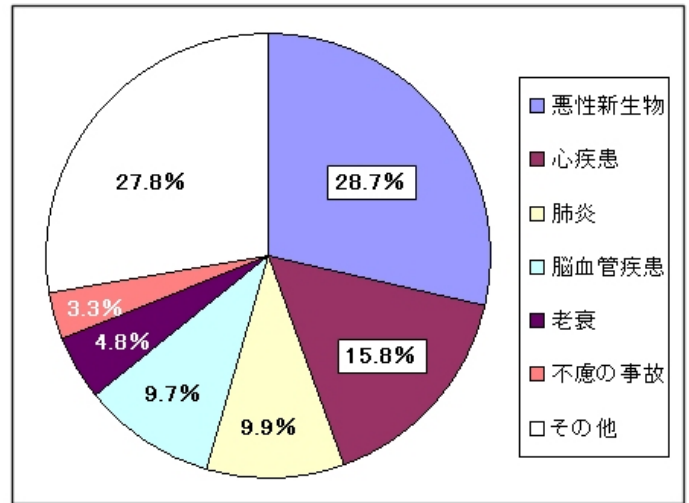
生活習慣病は、今や健

生活習慣病と医療費

死因の上位を占め、 医療費負担も多大に

康・長寿の最大の阻害要因となるだけでなく、国民医療費にも大きな影響を与えています。その多くは、不健全な生活の積み重ねによって内臓脂肪型肥満となり、これが原因となって引き起こされるものですが、これは個人が日常生活の中での適度な運動、バランスの取れた食生活、禁煙を実践することによって予防することができますとされています。

死因順位上位と構成割合(平成24年)



生活習慣病の総患者数・死亡者数・医療費

	総患者数	死亡者数	医療費
悪性新生物	152.6万人	36.1万人	31,831億円
糖尿病	270.0	1.4	12,152
心疾患(高血圧性を除く)	161.2	19.9	17,020
高血圧性疾患	906.7	7.3	19,082
脳血管疾患	123.5	12.2	17,894

厚生労働省「人口動態統計」「患者調査」「国民医療費の概況」より
 ※総患者数とは、調査日現在において、継続的に医療を受けている者(調査日には医療施設で受療していない者を含む)の数を次の算式により推計したものです。

総患者数 = 入院患者数 + 初診外来患者数 + (再来外来患者数 × 平均診療間隔 × 調整係数(6/7))